



若宮おくんち「毛槍行列」

恒例の若宮おくんち（10月17日、18日）で、市の無形民俗文化財でもある毛槍行列が披露されました。奴の衣装をまとった保存会のメンバーが「ヨイヤ、マカセー」と威勢のよい掛け声を響かせ、毛槍を回転させたり投げ渡したりしながら、若宮八幡宮と高橋神社を往復しました。写真＝10月17日午後、白壁通りを練り歩く毛槍衆



日蘭建築ワークショップ

建築・都市計画分野での異業種・官民連携で最先端に行くオランダから招いた建築家の指導による、5日間の合宿型ワークショップが市内で開催され、建築専攻の大学生12人が、町並みや伝統的建造物などを調査し、その活用などについて発表しました。写真＝10月26日、町並み交流館商家での発表会



道の駅うきはで「かかしコンクール」

農村風景の素晴らしさを伝えようと9回目を迎える「かかしコンクール」が、道の駅うきはで開催されています（10月19日～11月30日）。展望デッキには、「うきはのまごころ」をテーマにした32作品が飾られていて、特産のフルーツを“まごころ”込めて栽培する様子などが表現され、買物客の目を楽しませています。



「野外円形劇場」で演劇を披露

農民劇団「嫩葉会」主導のもと、大正14年、現在の道の駅うきは敷地内に造られた「野外円形劇場」跡で、市民ミュージカルワークショップ発表会が、10月13日開催され、短編が6本上演されました。

嫩葉会の活動を描いた脚本「あさきゆめみし」（布施博一作）の公演実現にむけて、気運を盛り上げる機会となりました。



「車いすバスケットボール」の特別授業

車いすバスケットボール競技で、2020東京パラリンピック出場を目指す福澤翔選手による特別授業が、10月26日大石小学校体育館で行われました。競技との出会い、困難に負けない生き方などについての講演後、実際に競技を体験しながら、パラリンピックへの関心を深めました。写真＝ゴール目指し、シュートする福澤選手と児童



千年小でICTを活用した授業を公開

平成29年度から3年間、ICTを活用した教育に関する研究が行われている千年小学校で10月31日、「情報を使いこなして問題を解決する子どもを育てる千年小の授業づくりー見方・考え方を働かせるICTの活用を通してー」というテーマで中間報告会が開催され、タブレット等を活用した授業が公開されました。※ICT＝情報通信技術